

患者の皆様へ

令和2年3月27日
糖尿病代謝内分泌内科

現在、糖尿病代謝内分泌内科科では、「免疫チェックポイント阻害剤（ICI）による内分泌障害の特徴」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では（2015年4月～2020年10月までの間に、千葉大学医学部附属病院でICIを開始し、内分泌免疫関連有害事象（甲状腺ホルモン異常・下垂体ホルモン異常・糖尿病）を発症した患者さん）の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「免疫チェックポイント阻害剤による内分泌障害の特徴」

2. 研究の意義・目的

「免疫チェックポイント阻害剤（immune-checkpoint inhibitor; ICI）は優れた抗腫瘍効果を発揮する一方で、過度の自己免疫反応を起因すると考えられる免疫関連有害事象（immune-related adverse events; irAEs）を惹起します。癌対象疾患の保険適応の拡大や、併用療法の増加により、今後更に増えることが想定されています。そこで当科では内分泌免疫関連有害事象の発症の予測と病態の更なる解明を行います」

3. 研究の方法

「当院における、ICIを使用した患者さんの中で内分泌免疫関連有害事象の有する群と有さない群で、背景・臨床経過・画像所見を比較検討します」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院内分泌研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科

医師 鈴木佐和子

043（222）7171 内線 5255